

各 位

会社名 インスペック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 菅原 雅史
 (コード番号：6656 東証第二部)
 問合せ先 取締役管理本部長 富岡 喜榮子
 TEL 0187-54-1888 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 6 月 9 日に公表しました業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 30 年 4 月期 (平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,650	150	131	142	52 円 32 銭
今回発表予想 (B)	2,650	65	46	57	17 円 49 銭
増減額 (B - A)	—	△85	△85	△85	—
増減率 (%)	—	△56.7	△64.9	△59.9	—
(ご参考) 前期実績	2,159	136	134	106	40 円 81 銭

2. 修正の理由

当社は、平成 27 年 3 月に当社連結子会社である First EIE SA の株式を取得 (以下「第一段階の取引」といいます。) し、当第 2 四半期連結会計期間である平成 29 年 8 月 2 日付で First EIE SA の株式を追加取得 (以下「第二段階の取引」といいます。) いたしました。

本株式取得の手続きが、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」における「複数の取引が一つの企業結合等を構成している場合の取扱い」に該当すると判断したため、第二段階の取引時に追加取得した持分に係るのれんについて、第一段階の取引後にのれんが計上されていたものとして算定し、第二段階の取引までののれんの償却相当額を第二段階の取引時に一括して費用計上することとなります。

したがって、第二段階の取得時である当第 2 四半期連結会計期間に当該のれん償却費 71 百万円を販売費及び一般管理費に一括計上いたしました。また、下半期ののれん償却予定額 14 百万円を当社の平成 30 年 4 月期連結業績予想に反映させることにより、業績予想を修正いたします。

なお、当社が戦略的に取り組んでいるロール to ロール型検査装置、ハイスペックの基板 AOI、AVI 等の引合いは堅調であることから、売上高については当初予想に変更はありません。今後、業績に及ぼす事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

(注) 本資料に記載している業績予想等に関する将来に関する記述には、発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。